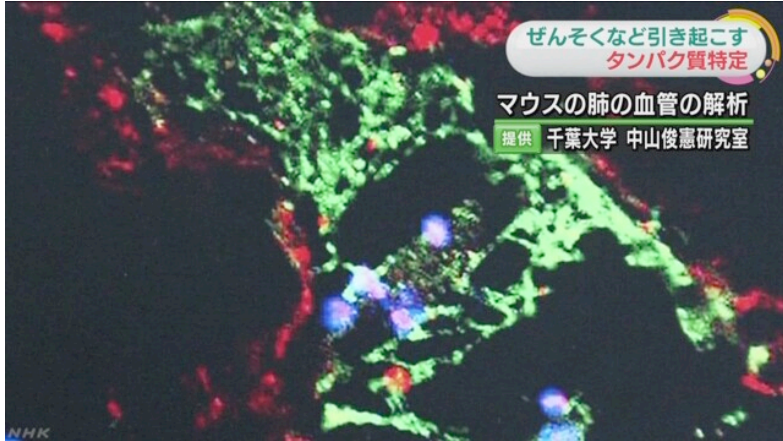


# NHK総合「おはよう日本」放映 2016年9月17日



画像:「NHK NEWS WEB 2016年9月17日版」より



画像:「NHK 首都圏 NEWS WEB 2016年9月17日版」より

朝日新聞(全国面)  
2016年9月17日

### 難治アレルギー発症の仕組み解明

【東京17日 朝日新聞】ぜんそくなど引き起こすアレルギー発症の仕組みを、千葉大学の研究チームが解明した。アレルギーの原因となる物質に反応した免疫細胞が、血管壁に侵入して炎症を引き起こすことが明らかになった。研究成果は、アレルギー発症のメカニズムを明らかにし、治療薬の開発に役立つと期待されている。

アレルギー発症の仕組みを解明する上で、免疫細胞が血管壁に侵入する過程を明らかにすることが重要だと考えられてきた。しかし、その仕組みは長らく不明だった。研究チームは、マウスの肺の血管を解析し、免疫細胞が血管壁に侵入する際に、特定のタンパク質が関与していることを発見した。このタンパク質は、免疫細胞の表面に存在し、血管壁の細胞と結合することで、免疫細胞が血管壁を突き破るのを助けている。この仕組みを明らかにすることで、アレルギー発症のメカニズムが解明された。

研究チームは、この発見に基づいて、アレルギー発症を抑える治療薬の開発を目指している。また、アレルギー発症のメカニズムを明らかにすることで、アレルギー発症の予防にも役立つと期待されている。

日刊工業新聞  
2016年9月19日

### 重症アレルギー疾患 発症メカニズム解明

【千葉19日 日刊工業新聞】千葉大学の研究チームが、重症アレルギー疾患の発症メカニズムを解明した。アレルギーの原因となる物質に反応した免疫細胞が、血管壁に侵入して炎症を引き起こすことが明らかになった。研究成果は、アレルギー発症のメカニズムを明らかにし、治療薬の開発に役立つと期待されている。

アレルギー発症の仕組みを解明する上で、免疫細胞が血管壁に侵入する過程を明らかにすることが重要だと考えられてきた。しかし、その仕組みは長らく不明だった。研究チームは、マウスの肺の血管を解析し、免疫細胞が血管壁に侵入する際に、特定のタンパク質が関与していることを発見した。このタンパク質は、免疫細胞の表面に存在し、血管壁の細胞と結合することで、免疫細胞が血管壁を突き破るのを助けている。この仕組みを明らかにすることで、アレルギー発症のメカニズムが解明された。

研究チームは、この発見に基づいて、アレルギー発症を抑える治療薬の開発を目指している。また、アレルギー発症のメカニズムを明らかにすることで、アレルギー発症の予防にも役立つと期待されている。

毎日新聞(全国面)  
2016年9月17日

### ぜんそくの原因解明

【東京17日 毎日新聞】ぜんそくの原因を解明する上で、免疫細胞が血管壁に侵入する過程を明らかにすることが重要だと考えられてきた。しかし、その仕組みは長らく不明だった。研究チームは、マウスの肺の血管を解析し、免疫細胞が血管壁に侵入する際に、特定のタンパク質が関与していることを発見した。このタンパク質は、免疫細胞の表面に存在し、血管壁の細胞と結合することで、免疫細胞が血管壁を突き破るのを助けている。この仕組みを明らかにすることで、アレルギー発症のメカニズムが解明された。

研究チームは、この発見に基づいて、アレルギー発症を抑える治療薬の開発を目指している。また、アレルギー発症のメカニズムを明らかにすることで、アレルギー発症の予防にも役立つと期待されている。

読売新聞  
2016年9月17日

### ぜんそく発症の鍵発見

【東京17日 読売新聞】ぜんそくの原因を解明する上で、免疫細胞が血管壁に侵入する過程を明らかにすることが重要だと考えられてきた。しかし、その仕組みは長らく不明だった。研究チームは、マウスの肺の血管を解析し、免疫細胞が血管壁に侵入する際に、特定のタンパク質が関与していることを発見した。このタンパク質は、免疫細胞の表面に存在し、血管壁の細胞と結合することで、免疫細胞が血管壁を突き破るのを助けている。この仕組みを明らかにすることで、アレルギー発症のメカニズムが解明された。

研究チームは、この発見に基づいて、アレルギー発症を抑える治療薬の開発を目指している。また、アレルギー発症のメカニズムを明らかにすることで、アレルギー発症の予防にも役立つと期待されている。

千葉日報  
2016年9月19日

### ぜんそくの原因解明

【千葉19日 千葉日報】ぜんそくの原因を解明する上で、免疫細胞が血管壁に侵入する過程を明らかにすることが重要だと考えられてきた。しかし、その仕組みは長らく不明だった。研究チームは、マウスの肺の血管を解析し、免疫細胞が血管壁に侵入する際に、特定のタンパク質が関与していることを発見した。このタンパク質は、免疫細胞の表面に存在し、血管壁の細胞と結合することで、免疫細胞が血管壁を突き破るのを助けている。この仕組みを明らかにすることで、アレルギー発症のメカニズムが解明された。

研究チームは、この発見に基づいて、アレルギー発症を抑える治療薬の開発を目指している。また、アレルギー発症のメカニズムを明らかにすることで、アレルギー発症の予防にも役立つと期待されている。